

●新規採用職員からのメッセージ

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。

令和6年度採用



伊賀農林事務所 森林・林業室 林業振興課 技師 青さん

入庁1年目

○三重県林業職員を選んだ理由は？

高校で生物を履修した際に森林環境に興味を持ち、大学では森林生態学を専攻しました。大学で学んだことを活かして、地元三重県の森林・林業に携わる仕事がしたいと考え、三重県林業職員を受験しました。また、県の林業職員は幅広い観点から森林・林業に携わることができることも魅力のひとつでした。

○今後の抱負は？

現在担当している業務について、知識や経験を深めていくとともに、担当以外の業務にも関心を持っていきたいです。そのために、積極的に研修に参加し、現場へ足を運びたいと思います。そして、今後は様々な業務に携わり、幅広く森林・林業について経験を積み、林業職員として三重県の発展に貢献できればと考えています。

○現在の仕事は？

私の所属する林業振興課の業務の中で、下記の業務を主に担当しています。

- ・造林補助事業
- ・林業種苗事業
- ・林道事業
- ・緑化推進事業
- ・みえ森と緑の県民税（連携枠）事業
- ・森林環境創造事業 など

様々な事業に関わっており、良い経験となっています。

○受験対策の秘訣は！

教養試験対策として、数的処理を主に勉強しました。テキストで解き方を確認した後、国家一般職の過去問を解きました。専門（林学）試験対策として、森林・林業白書等で確認しながら国家一般職の過去問を解きました。面接対策として、面接カードに書いた内容について答えられるよう準備しました。また、面接を経験するために、国家一般職を併願していました。

○実際に働きはじめてどうですか？

はじめは分からないことばかりでしたが、上司の方々が丁寧に指導してくださるので、徐々にできることが増え、安心して働くことができます。

また、事務所にいるばかりではなく、外へ出て実際に森林・林業の現場を見る機会も多々あります。

○受験を考えている人にメッセージ！

林業職員は森林整備や野生鳥獣に関することから、治山・林道の公共工事まで、幅広い業務に携わることができます。また、実際に働き始めてから新たに知る森林・林業に関する業務もあると思います。三重県の林業職が少しでも気になれば是非受験してみてください。きっと自分にとって興味・関心のある仕事が見つかります。一緒に働ける日を楽しみにしています。

●新規採用職員からのメッセージ

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



令和6年度採用

入庁1年目

熊野農林事務所 森林・林業室 森林保全課 技師 内田さん

○三重県林業職員を選んだ理由は？

理由は2つです。1つ目、三重県に住みたかったから。これは大学を卒業する際に決めていました。しかし、色々あって実現させるのに時間を要しました。2つ目、県内で仕事を探す際に自分が前向きに取り組めそうなことを軸に考えたとき大学で専攻していた森林に関することと前職で取り組んでいたことを合わせて林学区分なら何とかできるのではないかなという結論に至ったからです。

○現在の仕事は？

治山事業に関する工事を担当しています。カッコよく表現すれば災害対策、普通に表現すれば地すべり対策です。設計図を見ながら工事が問題なく進んでいるか現場に行き自分の目で確認したり、現場から挙がってきた問題点に対して解決策を探ったりしています。時には受注者から無理難題を押し付けられたり、うまく物事を進められなかったりと疲弊しますがそれも面白さの1つです。

○実際に働きはじめてどうですか？

良くも悪くも自分が想像していたものとは違っていました。民間企業で働いていた時には感じる事のなかった雰囲気です。仕事に関しては、複数の仕事を担当することになりますが上司や先輩が必ず手助けしてくれるので入ってすぐでもある程度自分の裁量で進めることができる状況でした。少々の失敗や間違いは、すぐに立て直せるような体制であるため仕事に取り組むやすいと感じています。

○今後の抱負は？

自分に足りないものを明確にしてできる範囲を広げていきたいと考えています。大学の専攻と前職の取り組みを踏まえれば最初からでも少しはやれるだろうと強がっていましたが、とんだ勘違いでした。自分の甘さをかなり早い段階で知る羽目になりました。故に改めて自分と向き合い出来ないことを日々少しずつでも良い方向にもっていけるようにしていきたいと強く思う今日この頃です。

○受験対策の秘訣は！

1次試験は、勉強した割に大した成果を挙げられなかったためこうすると失敗しますということに記載します。1点目、全範囲を勉強する。2点目、苦手分野を何とかしようとする。3点目、勉強時間だけを見てやっている満足する。他にもありますが主なものは以上です。2次試験については、論文がやや曲者ですがうまく躲してください。面接は自分がこれまで生きてきた内容について自信をもって答えられるようにしておけばきっと大丈夫です。

○受験を考えている人にメッセージ！

受験すればよいと個人的には思います。1つの選択肢として持っておくことにして対策を進めていくうちに嫌になったり興味がなくなったら受験をやめればよい。国家公務員や民間企業を見ながら片手間で進めるというぐらいの気持ちでよいはず。後になって受験しておけばよかったという状況になるのは避けてほしいです。候補の1つとして持っておくぐらいの軽い気持ちでいきましょう。

●新規採用職員からのメッセージ

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



職場のモルック大会で優勝しました！
(伊勢農林水産事務所 森林・林業室)

令和6年度採用

入庁1年目

伊勢農林水産事務所 森林・林業室 林業振興課 技師 小林 直美

○三重県林業職員を選んだ理由は？

私は中高生の頃から森林保全に関心を持ち、大学では地球環境学を専攻しました。山地災害防止機能をはじめ、森林の多面的な機能に魅力を感じ、自然豊かな三重県の林業職員として働きたいと考え、志望しました。

転職を経て三重県林業職員となりましたが、同期には転職者も多く、異なる経験を活かしながらキャリアアップできる環境が整っていると感じています。

○現在の仕事は？

鳥獣保護関係業務、保安林、森林計画などの林業振興業務に携わっています。

出先事務所では、地域のみなさんの声、課題や要望を直接聞くことができます。また、大学等で学んだスマート林業の知識を普及に生かす機会もあり、聞き取った地域課題の解決に貢献できればと考えています。

○実際に働きはじめてどうですか？

私の職場は、コミュニケーションが活発で日々和気あいあいと働いています。また、登山歩道整備ボランティア研修など、若手に対する研修制度も充実しており、業務に必要なスキルを着実に向上させることができます。

そして、休暇がとりやすく、休日は同僚・同期と登山やキャンプをしたり、趣味である旅行やスキーなどプライベートも満喫しています。

○今後の抱負は？

まずは業務をしっかりと習得するとともに、積極的に学ぶことで、チームに貢献できるよう努力したいと考えています。

私が目指す県職員像は、地域の課題を解決するための施策を立案し、実行する責任をしっかりと担う職員です。そのためには、地域の特性や文化を理解し、関係者との信頼関係を築き、より多くの知識や経験を積みたいと思います。

○受験対策の秘訣は！

受験の2か月前から勉強を始めました。
(専門試験対策) 林業系の学部出身ではないので、高校の林業の教科書と森林・林業必携を片手に、国家の過去問を3年分解きました。
(論文・面接対策) 県政運営の指針である「強じんな美うまし国ビジョンみえ」や「三重の森林づくり基本計画2019」を読み、県施策の方向性を理解するとともに、志望理由ややりたい職員像を整理しました。

○受験を考えている人にメッセージ！

三重県林業職は、研修制度も充実しており、上司に相談しやすいような環境で、日々成長を感じています。また、福利厚生が充実しており、同じ職場内で女性・男性問わず子育てをしている方もいらっしゃいます。

森林や林業に興味があり、三重県の林業を元気にしていきたいと考えている方と一緒に働ければと思っています。

●新規採用職員からのメッセージ

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。

令和6年度採用



津農林水産事務所 森林・林業室
林業振興課 技師 飛岡 さん

入庁1年目

○三重県林業職員を選んだ理由は？

私は幼い時によく家族と山へ遊びに行っていました。そこから森林に興味を持ち、大学でも森林・林業について学びました。その中で、森林を整備することで森林の持つ公益的機能を高め、人々の生活を豊かにしたいと考えようになりました。

学んできたことを生かし、地元である三重県に貢献できるところに魅力を感じたため、三重県林業職員を選びました。

○現在の仕事は？

私の所属する林業振興課では、造林事業の補助金に関する業務の他、緑化関係の事務作業、森林簿の開示や狩猟関係の窓口対応など、幅広い業務に携わっています。

どの業務にも共通することは、たくさんの方と関わることです。人とのコミュニケーションを通じて森林や林業に関わることができるため、とてもやりがいのある仕事です。

○実際に働きはじめてどうですか？

はじめは社会人としてのマナーから仕事内容まで何も分からない状態でしたが、研修や先輩職員の方々のご指導もあり、毎日少しずつ学んでいます。また、分からないことや疑問に思ったことを相談しやすく、失敗してもフォローしていただけるため、安心して仕事ができる職場だと思います。

○今後の抱負は？

三重県の森林・林業の活性化に貢献できるように、今学んでいることをしっかり理解して身につけていくことで、業務に生かしたいと考えています。

また、林業職員の業務内容は多岐にわたるため、現在担当していない業務においても研修に積極的に参加するなどして、知識や経験の幅を広げていきたいです。

○受験対策の秘訣は！

筆記試験は、国家一般職の林学の過去問を繰り返し解いていました。間違えた問題は、森林・林業白書などで該当する部分を探して復習しました。

面接試験は、三重県職員になって何をしたいかを明確にイメージできると良いと思います。また、模擬面接などに参加して面接の雰囲気慣れておくことで、本番での緊張を和らげることもできます。

○受験を考えている人にメッセージ！

三重県林業職員の魅力は、森林・林業に関する業務は幅広く、仕事の中で様々な経験をすることができることです。また、県民の方々ややり取りをする機会も多く、地域に貢献しているという実感がわきやすいと思います。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

●新規採用職員からのメッセージ

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。

令和6年度採用



農林水産部 治山林道課 林道班 技師 若林 さん

入庁1年目

○三重県林業職員を選んだ理由は？

幼少の頃から生き物が好きで自然に囲まれて育ってきました。大学では森林など広く自然環境について学び、また趣味の野鳥観察などでも森林に足を運ぶ機会が多くなりました。

森林に関係する仕事への就職を考える中で、生まれ育った三重県で働ける点や森林に関わる多様な業務を経験できる点に魅力を感じ、三重県林業職員を志望しました。

○今後の抱負は？

今後様々な業務を経験して森林・林業に関する知識を身につけていくなかで、これだけは誰にも負けないと自信を持って取り組めることを見つけていきたいと思います。また公私ともに色々な方と関わることで、視野を広く持てるようになりたいです。

三重県の森林・林業分野に貢献できるよう、初心を忘れずに頑張っていきたいと思います。

○現在の仕事は？

主に林道災害復旧事業を担当しています。大雨や台風などで被害を受けた林道を、国の補助を受けて復旧させる仕事です。と言っても現場に出ることは少なく、取りまとめや林野庁等とのやりとりがメインとなります。

補助を受けるために災害査定を実施することがあります。地域機関等との調整や当日の進行など業務は多岐にわたりますが、円滑に進めていくことにやりがいを感じています。

○受験対策の秘訣は！

専門科目は国家一般職の林学の過去問で対策しました。よく出る分野は森林・林業白書や森林・林業実務必携を読み込みました。また一般教養は数的処理を中心に対策しました。

面接は事前に作成する面接カードの内容をしっかりと頭に入れつつ、面接官の方と楽しく話すことを意識していました。民間企業などで面接を一度経験しておく、緊張がやわらぐかもしれません。

○実際に働きはじめてどうですか？

何もわからない状態で入庁し不安だらけでしたが、先輩職員からフォローいただきながら少しずつ担当業務をこなせるようになってきました。

先輩職員が優しく、些細なことでも相談に乗ってくださるので、忙しいときもありますが気持ちにゆとりを持って働くことができます。

○受験を考えている人にメッセージ！

三重県林業職員の仕事は土木工事や木材利用、希少生物保護など幅広い分野を担うので、業務を通じて様々な経験を積むことができます。敷居が高いように感じるかもしれませんが、先輩職員が丁寧に指導してくださるので、林業分野を専攻していない人でも働きやすい職場だと感じています。

三重県の林業職員として一緒に働ける日を楽しみにしております。